資料４－Ａ

技術検討会（第１回）質問・意見総括表

令和７年７月９日

質問意見総括表（令和7年度　第1回北陸農政局農業農村整備事業等評価に係る技術検討会（国営事業））							
地区名	資料名	ページ	質　　問		回答者	第1回技術検討会における回答	第2回技術検討会における回答
			質　問　者	内　　容			
庄川左岸地区	資料4-4	20 及び 33	浜野委員	意見であるが、アンケート調査結果で、回答が3段階（効果がある、効果がない、わからない）となっているため、事業の効果を理解してる人が5割にとどまるなど、適正な評価となっていない可能性があり、「やや」や「ほぼ」等の中間評価を加え5段階で行うなどもう少し丁寧に取り組む必要があったのではないか。 また、総合評価（案）で「排水が機能回復」とあるが、機能向上もあるのではないか。 さらに、「洪水被害を未然に防止」とあるが、近年の豪雨等これからのことを考慮して想定以外のことにも対応できるようにすることが必要と思った。	土地改良管理課 伴邪農政調整官	アンケートにおける回答の設定にあたっては、今後のアンケート調査の実施にあたり検討する。 本事業（国営総合農地防災事業）は、施設の機能を回復させることが目的に実施されているため、回復としている。	アンケート調査の回答の設定は、今後のアンケート調査において御意見を踏まえて取り組ませていただきます。 本事業の事業計画には、「本事業と関連事業により地区内の農業用用排水施設の機能を回復」を目的に事業を実施しているため「回復」としています。 なお、農林水産省において『土地改良事業計画設計基準計画「排水」』(以下「排水計画基準という。」)」の内容を改めて制定（令和7年4月）し、豪雨災害の一層の頻発化・激甚化を踏まえ、将来予測に基づく計画策定手法を確立し、国営事業において排水計画基準に基づき決定した降雨規模に対応する整備水準で、近年の気候変動に対応した豪雨対策を実施することが可能となっております。
庄川左岸地区			瀧本委員長	本事業や関連事業の実施により本地区の農地（特に水田）が守られることにより、水田に貯留した用水は公共用水域への還元水の増加、地下への降下浸透量の増加につながり、結果として下流域の水源が涵養され工業用水、生活用水として利用でき地域の維持に貢献している。 富山県では豪雨時の農地や農業水利施設の見回り等の際の農業用水路への転落事故が多いことから、農業水利施設の見学などを通じ施設の役割の理解とともに転落事故防止等への意識の向上を図ることが大切。	土地改良管理課 伴邪農政調整官		